

Ohmi net

No. 59
 6・7・8月号



おうみネット

●発行日/2007年6月1日 ●発行所/(財)淡海文化振興財団



CONTENTS

特集●淡海とびっくす 2

これからの市民活動を考える…… **パート1**

市民活動

この十年を読み解く

■元気NPO探し隊 7 8

- 比良里山クラブ ●あけぼの滋賀
- 特定非営利活動法人 五環生活

■孫の手ナビ 9 10

【そが知りたい!NPO運営術 VOL.7】
 【Sekenよし!】
 株式会社シガMEC~EGS社~

■支える・つなぐ・結ぶ 情報BOX 12

■Ohmi net
 INFORMATION
 6月・7月・8月 13 14

この日なん

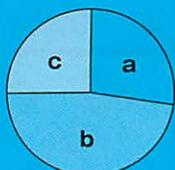
6月	1 電波の日 写真の日 金
8	9 学校の安全確保・ 安全管理の日 金 土
16	17 ケーブルテレビの日 和菓子の日 土 日 父の日 おまわりさんの日
24	25 淡海ネットワークセンター 設立10周年記念フォーラム 日 月 住宅デー
1	2 琵琶湖の日 こころの看護の日 日 月 ユネスコ加盟記念日
9	10 火
11	12 水
23	24 木
1	2 水の日 観光の日 自然環境クリーンデー 水 木
9	10 長崎平和記念日 野球の日 木 金 道の日 健康ハートの日
17	18 金 土 米の日
25	26 土 日 即席ラーメン記念日 人権宣言記念日

「この10年で暮らしは良くなった?」

●巻頭アンケート結果

Q1

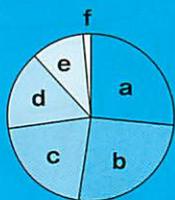
この10年で暮らしは良くなりましたか?



- a.はい…27.2%
- b.いいえ…47.1%
- c.変わらない…25.7%

Q2

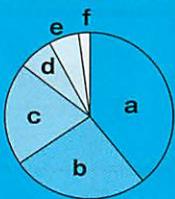
この10年をふり返って深刻になったと感じるのは?



- a.格差社会…26.5%
- b.治安の悪化…25.7%
- c.環境破壊…20.6%
- d.いじめ…15.4%
- e.国際紛争…10.3%
- f.その他…1.5%

Q3

今後10年であなが一番がんばりたいのは?



- a.仕事…39.0%
- b.趣味…26.5%
- c.恋愛…19.9%
- d.勉強…6.6%
- e.その他…5.8%
- f.ボランティア…2.2%

アンケート：携帯情報メール発信会社「2メール」協力
 回答者 総数136名 男性41名 女性67名 不明28名
 10代…1名 20～30歳…35名 31～40歳…50名
 41～50歳…25名 51歳以上…6名 不明…19名

【9・10・11月号のアンケート】
 次回9・10・11月号は「市民活動」をテーマにした巻頭アンケートを実施します。読者の皆さんもぜひ、アンケートにご協力ください。詳しくはP.13をご覧ください。

V・O・I・C・E



30年後を想い、次の10年を創る

10年ひと昔、過ぎてみればあっという間。どんなことがあったのか振り返りながら、次への展開に向け、歩みを進める。過去の未来活用形。「良き社会」を実現しようとする多くの方々の想いとご支援を賜り、1997年4月の設立以来、淡海ネットワークセンターは活動してまいりました。支えてくださった皆様への感謝の気持ちは一文では尽くせぬものがありますが、この場を借りて深くお礼申し上げます。

日本でも活発化しつつある市民活動の少しでもお役に立てればと一念発起して、私は米国から帰ってきました。私の10年も、日本の市民活動に彩られながらのものでした。時代の展開期にある淡海ネットワークセンターに、民間登用の事務局長として昨年4月着任以来、その責任の重さを日々痛感しています。

さて2007年度は、淡海ネットワークセンター設立10周年であり、これを期におうみネットでは市民活動を振り返り、出てきた課題を探り、これからの市民活動の参考になる情報をお届けする趣向です。今年の特集面を充実させて、年4回の発行となります。今回の特集『市民活動 この10年を読み解く』では、過去から現在までの市民活動を読み解いていきます。9月号、12月号、3月号でも、市民活動に携わっている方々の声を多く取り上げ、時代のムードと方向が見えるようにしたいと思っています。

琵琶湖を取り巻く魅力的な町々。琵琶湖を巡る市民活動のさまざまな大ききひとつになる時に、変革の時代がやってくる。地域運営の大きなうねりが地域をいっそう魅力的に元気にしていく。次の10年で、それが現実のものとして検証されていくのではないのでしょうか。

10周年企画第1弾として、6月24日(日)には10周年記念フォーラム『地域を見つめて。「おうみの市民社会のカタチ～これからの10年を創る』を開催いたします。

地域社会を構成するさまざまな主体が取り組むべき今後の課題や展望について考えたいと思っていますので、皆様どうかご参加ください。

淡海ネットワークセンター事務局長 浅野 令子

これからの市民活動を考える

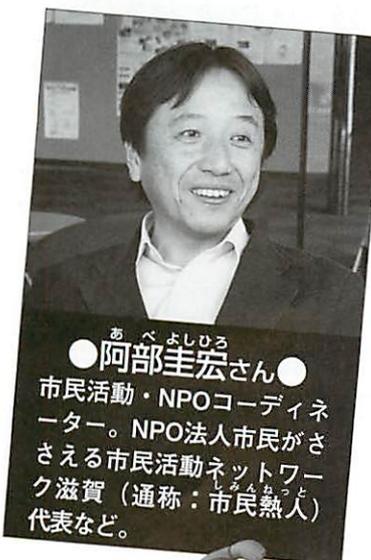
市民活動

この十年を読み解く

おうみネットワークセンターは今年で設立十周年を迎えました。そこで、十周年記念特集として今号から四回シリーズで「これからの市民活動を考える」をお届けします。まず初回となる今回は、淡海ネットワークセンターに設立当初から関わりのあるお二人に、過去～現在の市民活動を振り返っていただきました。



きたむらひろあき
●北村裕明さん●
滋賀大学経済学部教授。専門分野は「財政学」「非営利組織論」。著書「現代社会と非営利組織」(淡海ネットワークセンター発行)など。



あべよしひろ
●阿部圭宏さん●
市民活動・NPOコーディネーター。NPO法人市民がさえる市民活動ネットワーク滋賀(通称:市民熱人)代表など。



市民活動。
この十年で大きく変わったことはなんですか？

阿部 まず「市民活動」という言葉が一般的になったことですね。十年前には「市民活動」はあまり使われていなかった。「NPO」も同様ですね。それが、今は「NPOって知っていますか？」と聞くと、たいていの人は「うんうん」とうなずいてくれる。市民活動もNPOもその言葉を違和感なく使えるようになった十年かな。(データ1参照)

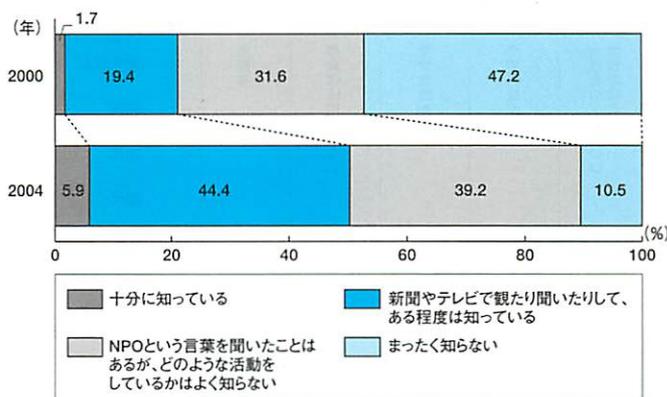
北村 私もそう思います。「市民活動」という言葉が市民権を得たこの十年だったと思います。市民の力が十分に発揮されなければ社会はうまく回っていかないことが明らかになって、発揮する手段の一つとしてNPOが非常に大切であるということが、日本社会全体で広く認識されてきたこの十年ではなかったでしょうか。

阿部 ボランティアということでは滋賀県の数値は高いですよ。(P3データ3参照) また、市民活動に関わる人も確

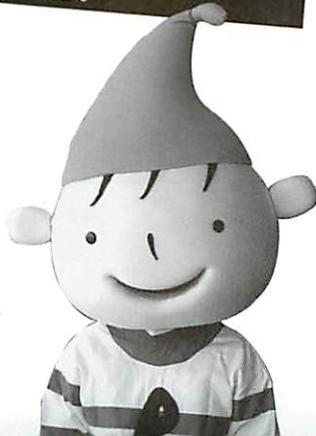


NPO法人数も
くんと伸びました。
(P3データ2・参照)

データ1【NPOの認知度】「全く知らない」は大幅に減少
(平成16年版国民生活白書より)

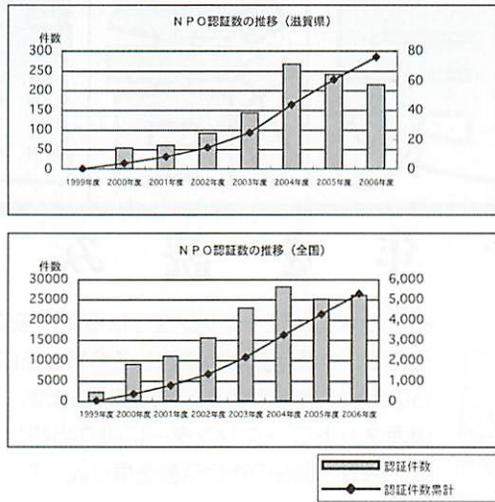


(備考) 1.内閣府「国民生活意識調査」により作成。2.「我が国では、NPO (Non-Profit-Organization: 民間非営利団体) と呼ばれる、営利を目的としないボランティア団体や市民団体が活動しています。あなたは、NPOについてご存知ですか。(○は1つ)」という問に対して回答した人の割合。3.回答した人は、2000年が全国の15～69歳までの男女3,969人、2004年が15～79歳までの男女3,902人。



かに増えてきています。ただ、担い手という面からみると、女性が圧倒的に多く、三十代、四十代の男性はあまり見かけませんね。また、シニア層がかなり入り込んできています。(データ4参照)

データ2【NPO認証数の推移(滋賀県と全国)】



本当ですね。五、六十代以上の割合が高いですね。

阿部 それから、特定非営利活動促進法(以後、NPO法)ができたことは、たいへん画期的だったと思います。市民活動に関する新たな法人制度ができたことで、NPOの活動の幅が広がり、次の展開を可能にしたと言えると思います。このことはとても大きいですね。

北村 この法律は阪神淡路大震災が大きな引き金となってできたものです。阪神



阪神大震災がNPO法制定の引き金になった。

イドで進められていました。法制定前にこうした政策的準備がすでにあり、震災後すぐに対応できたことは極めて大きいことです。

淡路大震災では、行政の限界が明らかになり、市民の力の大切さを広く社会が認識しました。その後、NPO法制定の気運は一気に高まるわけですが、それ以前一九七〇年代からすでに市民活動的な動きはあり、八十年代半ば以降になるとNPOや市民活動についての研究が市民サイドで進められていました。

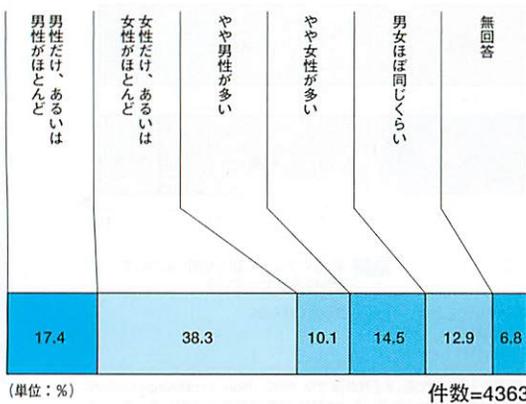
データ3【都道府県別ボランティア行動者率】

1位	滋賀県	39.1%	45位	神奈川県	23.3%
1位	山梨県	39.1%	46位	東京都	22.3%
3位	鹿児島県	38.8%	47位	大阪府	21.6%

平成13年度 社会生活基本調査より



データ4【スタッフの構成/性別】

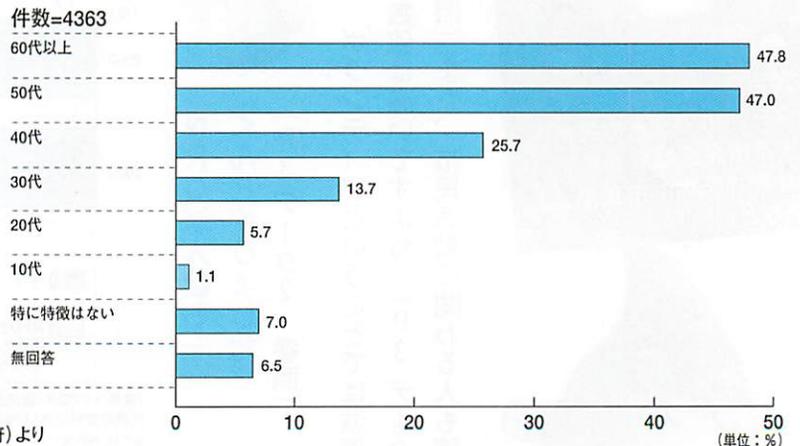


(単位: %)

件数=4363

平成16年度 市民活動団体基本調査報告書(内閣府)より

データ4【スタッフの構成/年齢(複数回答)】



(単位: %)



滋賀県の場合は
どうですか？

北村 一九七〇年代まで遡りますが、滋賀の特徴を作り出したのは、次の大きく二つに集約されると思っています。まずは、琵琶湖保全をめぐる動きです。みなさんご存じのとおり、琵琶湖に赤潮が発生し、「これではいけない」と市民レベルで琵琶湖汚染を防止しようと「せっけん運動」が展開されました。これは、一九七九年の「琵琶湖富栄養化防止条例」という、有リン合成洗剤の使用・販売を禁止する制度をつくりだしましたが、こうした七十年代半ば以降の琵琶湖保全の活動が、滋賀県の環境を中心とした市民活動の画期になったことは全国的にも有名です。（P5 補足1）二つめは、これも一九七〇年代半ば以降ですが、歴史的、文化的資源を活かしたボトムアップ（※1）型の景観、まちづくりの動きです。もっとも典型的なのは、近江八幡市の八幡堀を保全し、活用しようとする活動でした。（P5 補足2）こうした二つの特徴が今の滋賀の市民活動につながってきた



と
思
い
ま
す。

阿部 十年前
という
こと
で

言えば、滋賀では「まちづくり」の活動が主流でした。滋賀はもともと自治会など地域活動が活発な県で、そこに、環境や福祉など社会の変化にともない、課題別に活動する団体がどんどん増えてきた、十年前には、市民活動を支援していく組織として、「淡海ネットワークセンター」ができ、現在の市民活動が活発になっていく大きな役割を果たしてきたと思います。



えっと、NPO自体は
どう変わってきましたか？

阿部 NPO法ができるまでは、活動が周りに理解されにくく、もんもんとやっていた団体が、法人格をとったことがきっかけで、活動が外に開かれ、結果として成長したケースもいくつか出てきています。

北村 日本の市民活動の幅を広げ、社会的認知を獲得し、未来へ切り開いていったという点ではこの法律ができたことは決定的に大きいですね。

阿部 ただ、法人ということ言えば、

いろんなNPO法人ができました。NPO法が施行された当初は、すでに活動していた団体が法人格を取得したケースが多かったのですが、どういう団体かはだいたい分かったのですが、今はそうした活動なしにいきなり法人をとるNPOが増えてきています。NPO、市民活動というのは、崇高なミッションを持って活動するわけで、ミッションに掲げる社会的課題の解決が一番なんです。やはり大切なのは市民活動として何をすべきかであり、その活動を見てNPOのよしあしを判断してほしいですね。

北村 阿部さんがおっしゃるように、やはり社会や地域の課題を解決していく視点こそが市民活動であってそこを見失ってはいけないんだと思います。

阿部 法人化が目的になっては困ります。法人化することによって、組織の継続性が期待されているのですが、なかなか世代交代が行われていかない場合もあります。自己完結型だけでやっているのだんだん活動は小さくなってしまします。だからどこかと関係性を持ち、自分たちの活動を外に開いて、



※1：ボトムアップ：現場からの提案を採用すること

広げていくことが必要なのではないかと
思っています。社会の期待するほど自立
したNPOがまだまだ少ないと思いま
す。

北村 NPO法によって多くの団体が生
まれてきた。次の段階はこうしたNPO
が地域社会を変えるため、有効に機能す
るためには何が必要なのか、ということ
が問題になってくるわけですね。そこで、
僕が大切だと思うのは、本来誰が公を担
っていくのかという点です。昔は地域の
共同事務は家族と地域共同体が全部担っ
ていました。それが、経済の発展に伴っ
て、地域共同体で担えなくなった共同事
務を、行政がもっぱら担うことになっ
たのです。例えば川の管理とか。

阿部 行政がやりすぎてきた、といっ
てもいいかなと思います。それを今、もう
ちょっと市民の手に返す発想でやってい
かないといけないのではと思います。

北村 そこで、地域の共同事務をもう一
度市民が担えるようにすることが必要に
なってきたのです。これは市民の力だけ
では限界がある、あるいはNPOだけで



は無理であって、市民が担えるような仕
組みづくりをしていかなければいけない
ということなんです。それが地域ガバナンス
(※2)を再構築するということです。
行政は、地域コミュニティが十分に機能
するような条件を整備することが、重要
な役割となるのです。コミュニティを構
成する様々な主体がもう一度自分たちの
共同事務に気づき、自分たちで担えるよ
うな仕組みを数多くつくっていく必要が
あるわけです。

阿部 そのことが行政のスリム化にもな
るし、地域力をあげる、市民力をつける
ことにもつながります。ここ十年で行政
がNPOに関心をもってくれるようにな
ったのは非常にいいことですね。

北村 例えば、「滋賀県風景条例」の近
隣景観形成協定は、地域ガバナンスを再
構築するためのすぐれた制度の一つだと
思います。これは、自治会、町内会から
「この地域の景観を守りたい」という申
請が出されると、県と市町村がそれを公
共性のある共同事務であると認めて、補

●補足1

せっけん運動

健康と琵琶湖を守るため、有リン合成洗剤の使用を止めて、
健康と環境にやさしいせっけんを使おうとした県民運動。
一時、粉石けん使用率が70.6%まで達した。

●補足2

歴史的・文化的資源を活かしたボトムアップ型まちづくり
～「八幡堀の保全活動」

豊田秀吉の作った八幡堀が、戦後の経済成長に伴い、昔の
堀の生活、経済的機能を失い、同時に汚水でヘドロが堆積
し、異臭を発していた。そこで、この堀を埋め立ててしま
おうという構想が持ち上がった時に、地元の人たちが立ち
上がり、「八幡堀の保全をしたい」という運動が起きました。

(財) 淡海環境保全財団発行「明日の淡海」Vol.14巻頭特集「明日
の滋賀県の市民運動を考える座談会—せっけん運動を顧みて—」
(黒田由美子さんの発言) より

◎その頃10歳だったのです。(…割愛…) 両親に連れられて琵琶
湖に泳ぎにきていたのですが、汚いからということでやめてしま
ったのが、すごく残念だったのです。それから、琵琶湖はなぜ汚
いのだろうという思いがありました。ちょうど母親が生協活動をし
ていましたので、その影響で「合成せっけんを使うのをやめま
しょう」みたいな運動が大阪のほうにも波及してまして。

◎私も子どもを生んで、洗濯する時に考えます。なぜそういうこ
とを考えるかという、やはり母がそういうことをしていたから
で、それを受け継いできているというのは、私が今やっている環
境に悪そうなのはなるべく使わないとか、その影響というのは
大きいと思います。

※2：地域ガバナンス：地域の多様な主体による地域自治

助金が交付される制度です。上から押しつけるのではなく、地域を守ることは自分たちの仕事であることに気づいてもらい、その実行方法も地域自らが考え担えるようにしています。新しい共同事務を地域で担えるような仕組みとなっているわけです。

阿部 近年でいうと、「介護保険制度」(※3)や「指定管理者制度」(※4)も仕組みの一つです。しかし指定管理者制度は、まだうまく機能しているとはいえません。指定管理を出す側の行政職員が、指定管理を導入することによって、施設運営をどう変えていくのかのビジョンが描ききれていないという課題があります。

北村 指定管理者制度を市民活動を支える制度にするかしないかは、まさに指定管理を出す行政側のセンスが問われるわけですね。

阿部 ただ、行政に頼るだけではなく、市民側も自分たちの財産を自分たちが守っていく、必要なサービスは自ら生みだし、指定管理を受けていくという発想に立つ必要があります。社会を変えていくための力をNPO自身もつけていってほしいと思っています。

北村 また、企業においても近江商人の

「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神を今に引き継ぎ、世間が良くなるために、市民活動と有機的につながってほしいと思います。



他に何かありますか？

北村 NPOが地域を変えろという経験がこの十年で出てきました。この経験をふまえて、地域ガバナンスの水準を高める新しい仕組みを市民や企業や行政が、様々な分野で考え、作り出すことが大切だと思います。

10周年記念フォーラムを6月24日(日)に開催します。詳しくはP.14をご覧ください。多数のご参加お待ちしております！



ありがとうございました。今回は市民活動の過去から現在を振り返る「市民活動この十年を読み解く」をお届けしました！次号は「市民活動課題を探る」淡海ネットワークセンター十周年記念フォーラムからをお届けします。

全国

- ・阪神大震災(1995)
- ・NPO法公布・施行(1998)
- ・介護保険制度開始(2000)
- ・地方分権一括法施行(2000)
- ・情報公開法施行(2001)
- ・認定特定非営利活動法人(NPO支援税制)スタート(2001)
- ・改正NPO法施行(2003)
- ・指定管理者制度開始(2004)
- ・障害者自立支援法施行(2006)

滋賀県

- ・せっけん条例施行(1980)
- ・滋賀県ボランティアセンター設立(1980)
- ・風景条例施行(1985)
- ・抱きしめてBIWAKO実施(1987)
- ・滋賀県琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例(1992)
- ・淡海フィランスロピーネット設立(1996)
- ・湖国21世紀記念事業(2001)
- ・滋賀県NPO活動促進室開設(2002)
- ・しが協働モデル研究会研究報告書作成(2005)
- ・室(NPO活動促進室)が課(県民活動課)に改編(2007)

淡海ネットワークセンター

- ・「淡海ネットワークセンター」設立(1997)
※全国2番目の公設の中間支援組織
- ・おうみネット発刊(1997～)
- ・各種講座の開催(1997～)
- ・ホームページ情報発信(1998～)
- ・淡海ネットワークセンター、ピアザに移転(1999)
- ・おうみ未来塾開講(1999～)
- ・おうみ市民活動屋台村開始(1999～)
- ・おうみNPO活動基金開始(2002～)
- ・メルマガ配信(2003～)
- ・おうみNPO活動基金に「協働事業」と「NPO活動支援事業」の助成枠が新設(2005～)
- ・おうみ市民事業創出支援プロジェクト開始(2007～)

※3：介護保険：高齢者介護の問題を市民の税によって支え、サービスの提供も市民(NPO)が行えるようにした仕組み
※4：指定管理者制度：行政が直接行ってきた公共施設の管理運営をNPOや企業が担えるようにした仕組み

元気探し隊

G E N K I
S A G A S H I T A I

NPO

6月5日「世界環境デー」
環境

比良里山クラブ

「比良の自然十楽しいこと」
まほろばの里」ただ今十代から
八十歳までが活動中

大津市南比良にある「まほろばの里（通称）」に、比良の自然を愛する人々が集い始めた。雑木林の中を縦走する「シン垣」は、農作物を害獣から守るために築かれた、江戸時代から残る石積み。比良里山クラブでは、地域の風土と暮らしがもたらした貴重な山文化として、保存していく方法を検討中だ。四年前、この地で里山活動を始めた三浦さん。「幼い頃、この川で見た一匹のビワマスが、ここまで導いて来た気がします。産卵期特有のあの朱赤が衝撃的で、今でも鮮明に覚えています。何でもこんなところにヒゴイがいるの？って驚きました」と笑う。

この川を遡ると『泉が谷』と



●古い耐火煉瓦と琵琶湖層の粘土で作った二号窯

7月1日「こころの看護の日」
医療

あけぼの滋賀

乳がん体験を乗り越えた
ピンクリボン運動

あけぼの滋賀は、乳がん体験者が主になっている会です。会の活動として、同じ経験をした人でなければ理解できない気持ちをお互いに聞きあうピア（仲間）カウンセリングを行うサロンを県内三会場（大津・草津・米原）で月一回開いています。乳がん手術後の不安や苦しみなどを人に話すことは勇気が必要とします。しかし一度それを乗り越えてしまうと、更に積極的な生へのステップを踏み出していけるのだそうです。会では専門家を講師に招いた講演会を開催し、日進月歩の乳がん治療情報を吸収する場を作っています。



●代表の菊井津多子さん



●琵琶湖ピンクリボンフェスタ・大津プリンスホテルのライトアップ

8月1日「観光の日」
環境

特定非営利活動法人
五環生活

五感と環境と暮らし：多彩な情報と地域の人々を結んで、『本物の暮らし』体験の提案と定着をめざす

築城四〇〇年で盛り上がる城下町を、ユニークな自転車タクシーが走ります。これは「ペロタクシー」と呼ばれるもので、NPO法人「五環生活」が運行しています。

人の五感と環境、暮らしをコンセプトに、様々なライフスタイルの体験を提案しているのが「五環生活」。「簡（シンプル）」に「飲（よるこび）」を「感（かん）」じ「環（エコ）」な「観（たび）」という五つの「カン」をテーマに、エコロジ―な「自転車タクシー」のほか、自然や地域との関わりで「本物の暮



●4月は900人弱の利用があったというペロタクシー。

イキイキとした暮らしや、地域の魅力を創るために、ボランティアや市民活動を広めようと日夜奮闘している元気なNPOを探し出して、応援していきます。

呼ばれる場所がある。昔からきれいな水が流れているポイントにもかかわらず、ゴミの不法投棄が繰り返されて来た。膨大なゴミがもたらす自然への影響が心配され、仲間たちとゴミの実態調査を行った。家電品・古タイヤ・乾電池、農家や家庭から出たゴミが混ざる。調査データを土地の所有企業に提出し、全面的な協力を得て撤去が叶い、二メートルのフェンスも設置された。それでもまだ捨てて来る人がいる。「今回の活動はほんの入り口です。自分たちにできることは何か、行政と市民と山主と一緒に考え行動していくしかないでしょう」と三浦さんは言う。

クラブに難しい規約はない。石窯でパンやピザを焼き、蕎麦打ちや観察会も楽しむ。人が人を連れてくる出会いの場でもあるという。

これからの夢は？という質問に「子供たちを集めて本の読み聞かせや紙芝居。音楽会に工作体験、料理教室なんかもステキですね。スタッフの確保も大きなテーマです。いろんな世代の方がお手伝いしてくださると助かりますのでよろしく願います！」と、熱い答えが返ってきた。

(編集ボランティア 森口行雄)

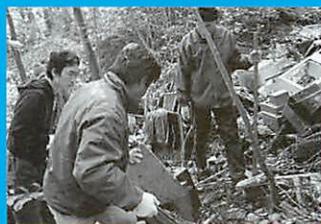


●代表の三浦みかさん

比良里山クラブ

事務局●三浦みか 設立●2003年 メンバー●約20人(随時募集中!)
連絡先●大津市横木2-25-12 TEL/FAX: 077-527-2833
e-mail: you-shun5.9@nifty.com

●不法投棄ゴミの撤去作業



滋賀県内では優れた病院や医師が協力体制を取っている。そう、会では病院を訪ね情報の収集も続けています。「乳がんは早期発見が治療への大きなカギとなる病気。少しでも早く見つけてほしい」と昨年、琵琶湖ピンクリボンフェスタ二〇〇六を企画し、みごとに成功させました。また、毎年母の日には街頭キャンペーンを行っています。乳がん手術は特に女性にとつて心身ともかなりのダメージを受けるものではないでしょうか。でも代表の菊井さんは前向きで明るく、お話を伺っている私たちが逆に元気を頂きました。あけぼの滋賀の活動は、女性だけでなく男性も、子どもにだっけてきつと勇気を与えるはずですよ。

(編集ボランティア 幡 郁枝)



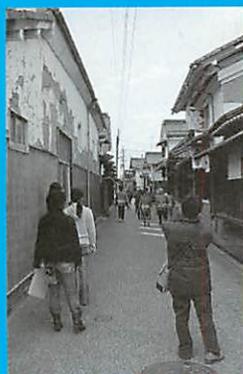
●「琵琶湖ピンクリボンフェスタ2006」のパンフレット

●琵琶湖ピンクリボンフェスタプレ講演会(6月) 田原総一郎氏と会員

あけぼの滋賀

代表●菊井津多子さん 設立●1994年 会員●84名
連絡先●大津市本堅田5丁目17-25 TEL: 077-573-0209
e-mail: kikui@crux.ocn.ne.jp URL: http://www.k5.dion.ne.jp/~akebonos (6月開設予定)

「エコツアーでは、宿場町の旅人体験、社氏体験、農業体験などをプロデュース。」



●エコツアーでは、宿場町の旅人体験、社氏体験、農業体験などをプロデュース。

特定非営利活動法人 五環生活

代表●近藤隆二郎 設立●2006年 会員●約15名(理事・スタッフ)
連絡先●彦根市中央町1番12号 TEL: 090-4273-3220 FAX: 0749-28-8570
URL: http://gokan-seikatsu.jp/ e-mail: mail@gokan-seikatsu.jp

「五環生活」が誕生しました。「エコ」という言葉にとらわれず、いろんなアイデアが生まれてきたらいいなと思っています」と近藤代表。知識ではなく身体からはじめるといふ意味を込めて生まれたネーミングとともに、それぞれの活動がコラボして、湖国に大きなウエーブが起ることを期待したいですね。

●五環生活のスタッフ。左下から、迫間さん(エコツアーの代表)、齋藤さん(ベロタクシーの代表)、北村拓さん。左上から、樋口さん(事務局)、石本さん(五環カフェの代表)、亀田さん、近藤さん(五環生活の代表)。





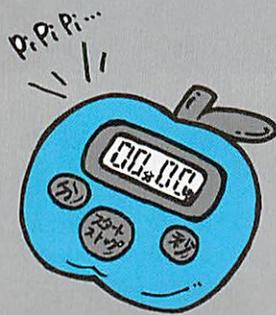
タートです。みなさんのところの会議は今のままでいいですか？まずはメンバーで「いい会議にするためには？」を話し合ってみてもいいでしょう。

(次回は「まずは準備。のツボ」をお届けします)

●会議のお助けアイテム～その1

「キッチンタイマー」

会議が時間内に終わらない。話しが長くて終わらない。そんな時役立つアイテムが「キッチンタイマー」。自己紹介など時間を決めてスタートすると、無情にも「ピピピピ」と時間を知らせる音。一瞬ひるむスキに、「すいません、時間がきましたので…」と参加者の笑いを誘いつつ、時間の区切りもつけられる、そんなお助けアイテムです。



▲ミュージックシガ
[http://musicshiga.jp/]



▲「BIWAKOrecord」制作のCD

う人気サイトに成長。アーティストのオリジナル曲が試聴できるほか、県内のライブ情報が網羅されています。同時に滋賀発のレコード製作「BIWAKOrecord」レーベルを立ち上げ、現在8枚のCDをネットで販売するほか、FMひがしおうみで楽曲の紹介番組を発信中です(第3水・19時～20時)。昨年、CATVシステム等の設計、施工、保守等を本業とする株式会社シガMEC(丸毛進代表取締役社長)がソフト部門を充実させるためにEGS社を合併し、音楽活動を全面支援しています。「今後、行政や企業、メディアと連携して、県内の音楽活動の裾野を広げるとともに、滋賀から有名ミュージシャンを世に送り出したい」(松崎さん談)。

おうみ未来塾

リレーエッセイ

「自分の未来をも探る」

いしがき きみよし
石垣 公由さん
[一期生]
セブン・ドロップス



一期生は21世紀を目前に1999年6月に開講されたのですが、1999年12月が定年の私にとっては将に第2の人生を未来塾で再スタートをする幸運に恵まれました。時はまさにコンピュータ2000年問題で世情騒然の中、世紀末論や「価値観」の転換が声高に叫ばれており、定年を目前にしてその後の「人生目標」を探っていた私にとっては、おうみ未来塾は自身の「未来」を探る貴重な機会となりました。

以来9年間を率直に振り返って観る時、当時未来塾メンバーで発足し、今も続く「セブン・ドロップス」は卒塾後も「21世紀記念事業」や「世界水フォーラム」へ参画し、将に「おうみ未来塾」の実践でありました。人生の転換点を有意義に展開させていただいた同窓諸兄に敬意と謝意を！そしてAll未来塾のみなさん「ありがとうございます」

NPOカフェ見聞録

誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」や「サロン」をご紹介します

マンポのとなり



代表の川那部さんが「商店街の町家が空いている」という話を聞き、みんなの居場所づくりに活用しようと仲間5人で立ち上げた「マンポのとなり」は、今年8月で2年目を迎えます。昔駄菓子屋さんだったスペースには子ども文庫が用意されており、1杯200円でコーヒーが飲めて、のんびりと時間を過ごすのにぴったり。気功や手作り教室も行われているほか、日用品を中心にしたフリーマーケット「ええもん市」や落語や大道芸といった催しも年2回程度開催。居場所づくりと文化・芸術発信でまちの活性化の一助になればと、大きな目標を持って活動中です。

おとなも子どもも、みんなが「ゆったり、ほっこりできる場所」

【問】草津市草津2丁目8-25 TEL.090-5045-9055 (西田)
開館時間：月～金 11:00～16:00

孫の手ナビ

かゆい所に手が届く



いい会議をしよう！① ～よい会議への第一歩～

活動をする中で、会議（ミーティング）はつきものですよ。でも会議って、なかなかうまく進まなかったり、参加のたび疲れたり、そんな会議だったりしていませんか？

いい会議とは、物事が前に進む、生産的な会議をいいます。会議は生もの。作り手（参加者）によっておいしくもなるし、まずくもなります。おいしい会議は、必ずその活動を元気にします。

みなさんの会議がもっといいものになるために。今号から4回シリーズで会議（ミーティング）のツボをお届けします。

では、まずは、「あなたの会議チェックシート」をチェックしてみてください。あなたの団体は健康的な会議をしていましたか？

いい会議にするためには、いろいろとコツがあります。順次ご紹介していきますが、そのための第一歩は？それは、あなたが「いい会議をしたい！」そう思うことです。その気持ちがス



あなたの会議について、直感で答えましょう。 （「はい」にチェック）

- 時間どおり始まり、時間どおり終わる。
- 参加者に日時・場所・議題を余裕を持って伝えている。
- 事前準備（資料作成・印刷・物品準備など）ができている。
- 開始前。今日の会議で何を話し、何を決めたいかの目標をみんなで共有している。
- 席の配置は意見が出やすい工夫をしている。
- 役割分担（進行役・記録・タイムキーパーなど）をしている。
- みんなが意見の言える配慮がされている。
- 話しは確実にゴールに向かっていく。
- みんな前向きに取り組んでいる。
- 会議の決定にみんな納得している。
- 適度の笑いや休憩がある。
- 終了時。決定事項と未決定事項を確認している。
- 会議で決まったことが実行されている。
- 会議の回数や頻度、長さ、参加人数は適当である。
- 会議後。書面で記録を共有している。

※はいの数

15個～13個 健康的な会議だと思います。他の人にもチェックしてもらって！

12個～ 9個 あと、ひと工夫凝らしてみよう

8個～ 5個 お疲れ気味？何から手を付けるかを考えよう

4個以下 やれることがいっぱい。希望をもって歩みましょう！

（出典：「人やまちが元気になるファシリテーター入門講座」（株）解放出版社発行 ちょん せいこ 著、IIHOE発行隔月刊誌「NPOマネジメント」より引用し、当方でアレンジしたものです）

Sekenよし

企業の社会貢献や
市民・行政との
協働etc.をご紹介します

株式会社シガMEC～EGS社～

TEL&FAX.077-543-7819
http://www.ex.biwa.ne.jp/egs-hit

滋賀県の文化活動を担う行政や企業、メディアと連携し、県内の音楽活動の裾野を広げ、有名ミュージシャンを世に送り出すシステムを構築したい

滋賀県で音楽活動をする人たちの応援とネットワークづくりのため、1999年にEGS社を設立。20年来、松崎さんは飲食店を経営する傍ら、ジャズライブの企画・運営等を行ったり、高校生バンドに無料で練習場所を提供したり、ライブイベントの資金援助をするなど地元の音楽発信基地としての役割を担ってきました。「何らかの団体を作れば会場が借りやすいと思い、クラシック以外のミュージシャンに発表の場をつくりたい一心でした」。一方、市民活動団体「琵琶湖という名の勇気の会」（会員50名）を結成し、



▲社長の松崎悦子さん



▲サウンドピクニック

熱い思いに賛同してくれる音楽仲間や協力者を一人ずつ増やしていったのです。その頃、滋賀県中小企業家同友会の先輩から「やるなら本業でやれ」とアドバイスを受け、飲食店を閉店し、2003年に有限会社化。テレビのCM音楽の制作や音楽イベントへの地元ミュージシャンの派遣などを事業の柱としました。

2005年より浜大津周辺で街角コンサート「サウンドピクニック」を仕掛け、昨年は20回開催するほか、彦根にも活動のエリアを広げました。2年前、滋賀発のインディーズ音楽を発信しようと、インターネット「ミュージック・シガ」を開設。県内外の登録アーティストが110組を超え、アクセス数が平均4,000～8,000ヒット/日とい

元気NPO にゆ〜す 宅配便

元気に活動しているNPOからの
活動レポートをお届けします。

GENKI NPO NEWS TAKUHAIBIN



NPO法人おおつ市民協働ネット

File 01

「第2回 市民活動団体“顔見世”交流会」 2月4日(日)



39の市民活動団体と大津市役所の5つのセクションが、日頃の活動などを「5分間スピーチ」で報告。さらに、アトラクション(音楽演奏、紙芝居、落語)、意見交換会、懇親会と、10時から19時までの長時間におよぶ盛りだくさんの内容に、市民や行政職員など、百名を超える参加者がありました。「実に多様な活動が行われていることを知った」、「本当につながっていきけるかは、これからだ」などのご意見があったように、大津では数多くの団体が活動していますが、相互の交流はまだまだこれから、という状況です。今回の「顔見世交流会」が、市民団体同志や市民と行政との交流のはじめの一歩になり、新たな活動につながっていけば、と思います。なお、おおつ市民協働ネットは、指定管理者として、昨年の4月29日から、大津市市民活動センターの管理・運営を担っています。

〒520-0803 大津市竜が丘6-12 TEL/FAX : 077-521-3919
(大津市市民活動センター TEL.077-527-8661 FAX.077-527-8662)
e-mail : otsu-shiminkatsudo@jupiter.ocn.ne.jp (大津市市民活動センター)
URL : <http://www15.ocn.ne.jp/asuto/shiminkatsudo.html> (大津市市民活動センター)

ひこね国際交流会VOICE

File 02

琵琶湖畔に住む、中国出身女性アーティストによるコンサート&絵画・写真展 3月11日(日)



私たちVOICEは草の根の国際交流を行うボランティアグループです。この日はメゾソプラノの欧ランさんと、写真で活躍の馮セイさんが、今春大学を卒業、帰国されることになり、絵画で活躍されている中国出身の石田麗佳さんも加わり、3人のジョイント発表会をビバシティホールで行いました。中国四川音楽学院声楽科卒業の欧さんは再び滋賀大学教育学部の声楽科で学び、数々のコンクールで受賞されています。この日は専門の歌唱のほか、中国の伝統的な曲も取り入れての素晴らしい歌声に観客は引き込まれました。友情出演の王エイさんの中国琵琶の演奏も素晴らしかったです。馮セイさんの写真は自然の持つ美しさをレンズを通して表現。また、石田麗佳さんの絵画も温かみのある素晴らしい作品で、それぞれ見る者の眼を楽しませてくれました。今後も、私達の身近なところで、日本人と共に活躍されている外国の人達を紹介する機会があればと思っています。

〒522-0064 彦根市本町2-1-23 丹下方
TEL/FAX : 0749-23-5517
e-mail : hikone_voice_1987_1@yahoo.co.jp
URL : <http://www.biwa.ne.jp/akira123/voice/>

NPO法人CASN (カズン)

File 03

キッズフェスティバル2007 3月24日(土)

「指導者」から「援助者」へ。「先導者」から「伴走者」へ。私たちカズンは、子どもたちの思いをしっかりと受け止め、理解を示す人がいたならば、子どもたちが本来持っている力を必ず発揮できるのだと信じています。子どもたちの心に寄り添い、向き合い、子どもたちから信頼され、子どもたちの心をしっかりと受け止める地域社会を願って様々な取り組みをしています。その活動の一つとして、子どもたちの体験活動の場としての「キッズフェスティバル」があります。キッズフェスティバルは、子どもたちの健全な心身の成長に深い関わりを持つと言われる「昔あそび」を子どもたちに伝え、世代を越え楽しむ場として2001年から県内各地で開催しています。今年は大津市生涯学習センターにて開催しました。親子で昔あそびに夢中になる微笑ましい姿がこちらで見られました。



〒520-0843 大津市北大路1丁目4-15
TEL/FAX : 077-537-5922
e-mail : info@casn.org
URL : <http://www.casn.org>

NPO法人

ヒマラヤン グリーン クラブ(H.G.C)

File 04

カワウの棲みつかない森づくり活動 3月24日(土)

H.G.Cは1993年より、パキスタン北東辺境地方の村々で、燃料のため大量伐採された樹木の再生と教育・医療(保健・衛生)などの支援活動を続けている団体です。日本においては、カワウの糞害により枯死した近江八幡市伊崎国有林の再生に向け、昨年11月4日よりH.G.C会員と一般森林ボランティアの方々とともに、地ごしらえ、作業道づくり、地ならしを行ってきました。去る3月24日(土)には、地域の子供達(近江八幡市緑の少年団)とともに、無事、植林を実施することができました。当日の参加者は総勢82名で、うち21名は緑の少年団の子供達でした。今後は、植樹した若木(苗木)が育成するように、下草刈りを行っていきます。皆さまのご参加をお待ちしています。※次回は、6月9日(土)午前9時30分より行う予定です。(その次は9月上旬予定)



〒520-0843 大津市北大路3-2-12
TEL/FAX : 077-534-0984
e-mail : hgc@soleil.ocn.ne.jp
URL : <http://www11.ocn.ne.jp/hgc/himalayan.html>

次号「元気NPOニュース宅配便」に掲載する活動レポートを募集します！(5・6・7月に開催する(した)活動が対象です。)ご希望の団体は淡海ネットワークセンターのホームページをご覧ください。[締切：7/10]

伝言板に掲載できなかった情報は、センターのホームページに掲載しています。URL●<http://www.ohmi-net.com/>

市民活動情報

市民と地域の「協働を問う。」 (第2弾・第1回) 講座

▶ 6月23日(土) 13:30~16:30
 テーマ●市民活動は地域の企業・事業者と何ができるか
 場所●大津市市民活動センター 会議室
 内容●(1)報告:企業・事業者の社会貢献活動の状況(2)事例紹介:滋賀県の企業・事業者による協働の取り組み(3)事例紹介:滋賀県の市民活動が取り組んでいる協働事例(4)意見交換:市民と企業・事業者の協働を進めるには
 参加費●無料 定員●30名
 〇大津市市民活動センター
 TEL:077-527-8661

日韓子どもエコ交流体験

滋賀と韓国でエコツアーを行います。詳細はお問い合わせください!
 滋賀ツアー:7月27~30日
 (子ども18,000円・大人21,000円)
 韓国&滋賀ツアー:7月30~8月2日
 (子ども79,000円・大人83,000円)
 〇NPO法人蒲生野考現倶楽部
 TEL:0748-53-9087
 URL:<http://www.gamouno.com/>

「五環な職・野良師」 参加者募集!

内容●ほぼ通年のコメ作り体験イベントのご紹介。「食(=食べる)」という営みの根源を見つめなおし、滋賀県北部の歴史や文化も体感して、「野良師」という生き方に触れていただきます。
 開催場所●滋賀県伊香郡余呉町上丹生地先
 6月初旬/「草刈り」昼食込2000円
 7月初旬・2日間/「草刈り」昼夜朝食込5000円(宿泊代別)
 9月下旬/「稲刈り」昼食込3000円
 10月初旬/「はさかけ」昼食込2000円
 10月下旬~11月初旬/「収穫祭」昼夜朝食込5000円(宿泊代別)
 〇NPO法人五環生活エコツアー事業部
 TEL:090-9695-0814(ハサマ)
 e-mail:mail@gokan-seikatsu.jp

モノ創り講座 ~めざせ創造都市米原~

内容●手芸や工作の好きな人のためのモノ創り講座です。「豆腐作り」「草木染め」「土器造り」など様々なものを作ることに挑戦しましょう。
 開催日時●毎月第2土曜日13:00~16:00
 全10回(期間:平成19年6月~平成20年3月)
 受講料●1回 500円
 対象●中学生以上(親子参加の場合は小学生以上)
 〇米原市米原公民館
 TEL:0749-52-2240

大人のための絵本講座

☆第4回「科学絵本」
 6月23日(土) 13:00~15:00
 内容●どんな絵本があるか、自然や生きものとの関連性をさぐる
 ☆第5回「外国の絵本」
 6月30日(土) 13:00~15:00
 内容●評価に耐えて既に古典となっている作品から現代の作品まで
 ☆第6回「写真絵本」
 7月14日(土) 13:00~15:00
 内容●世界に通用する写真家の目を通してその表現を味わう
 ☆第7回「絵本ができるまで」
 8月4日(土) 13:00~15:00
 内容●出版人の立場に立っての企画から絵本の完成まで
 ☆第8回「絵本作家の立場から」(対談)
 9月8日(土) 13:00~15:00
 内容●作家の思いとその表現手法
 ☆第9回「絵本の読み語り」
 9月22日(土) 13:00~15:00
 内容●こどもと絵本をどう出会わせるか、その実技と習得
 ☆第10回「絶版絵本が復刊されるまで」
 9月29日(土) 13:00~15:00
 内容●市民の支持で再登場する絵本たち(良い絵本は読み継がれていく)
 場所●高島市立今津図書館
 受講費●外部講師の時は1,000円/回、その他の回は500円/回になります。
 〇NPO法人絵本による街づくりの会
 TEL:0740-27-8156

第6回「ワールドの集い」 ~バラライカの調べとロシア民謡~

▶ 6月24日(日) 13:00~16:00
 場所●ピバンティホール
 内容●第1部「バラライカの調べとロシア民謡」第2部 日本語劇「さるかに合戦」・各国パフォーマンス(ウズベキスタン・アメリカ・中国・日本など)第3部 交流タイム
 〇ひこね国際交流会VOICE
 〒522-0064 彦根市本町2-1-23 丹下方
 TEL/FAX:0749-23-5517
 e-mail:hiro_hime19@yahoo.co.jp
 URL:<http://www.biwa.ne.jp/~akira123/voice/>

第54回 不登校・登校拒否を考える会

▶ 6月30日(土) 13:15~17:00
 場所●近江八幡市文化会館
 (近江八幡市出町366)
 内容●記念講演「子どもたちが自分らしく自立していくために」
 交流会:①小学校の不登校②中学校の不登校③高校・青年期の課題と自立④家族の対応と支援
 資料代●500円
 〇登校拒否・不登校問題滋賀県連絡会
 TEL/FAX:077-525-5364
 または 090-7762-9431(山田)

「七月の韓国」で文化をつなぐ会 開催のご案内 (in韓国)

文化を形にしたものの中に、洋服・音楽・舞踊・料理・書・絵・写真などがあり、その時代とともにふさわしい形として成長していきます。このたび、近くにありながら国が違うというだけでなかなか訪れる事のなかった韓国で会を開きます。
 ▶ 7月4日(水) 9:00~13:00
 7月2日(月) 出発~7月4日(水) 帰着
 内容●手作りの洋服・書道・写真・小物...コーラス・自由参加など
 旅行代金予算●58,200円(飛行機・宿泊費のみ)・出展(演)料:700円
 開催場所●韓国TOZ(トズ)本店
 〇文化をつなぐ会
 TEL:077-582-8521 (岩佐)

MAC・カウンセリング勉強会

内容●MAC勉強会では参加者の家庭環境、生活環境における問題を定義して、自分を見つめ直し、今まで気づくことのなかった自己を発見し、グループでお互いに話し合うことができる、開かれた人間関係をめざします。一緒にカウンセリングの勉強しませんか?
 日時●B教室/第2水曜日10:00~12:00
 カウンセラーを目指す方、相談したい方
 A教室/第2水曜日13:00~16:00
 カウンセラーを目指す方
 ~情動的レベルのカウンセラー養成~
 会場●大津市生涯学習センター
 参加費●初回:無料
 2回目以降:B教室 500円
 A教室 1000円(会員手続きが必要)
 〇マザーカウンセリング協会
 近畿支部事務局
 TEL:0749-27-0313・077-546-5597

障害者劇団「まちブロー座」ボランティア募集

内容●障害者劇団「まちブロー座」は身体障害者メンバーを中心に、役者・裏方として参加する社会人、学生ボランティアと共に、3年前に旗揚げした市民劇団です。お手伝いしていただける方を募集します。
 募集●出演者:裏方(音響・照明・メイク・小道具)・介助・送迎スタッフ
 〇障害者共働作業所「まちかどプロジェクト」担当:富田・森
 〒520-2144 大津市大萱一丁目16-11 サンセール瀬田1F1号
 TEL:077-543-2799 FAX:077-543-2900
 e-mail:machipuro@gambatta.net

くつきの森で遊びませんか 里山の楽しさ・気持ちよさを体験してみませんか! ~くつきの森2007年度イベント案内(一部)~

☆くつきの森を散歩しよう 内容●ガイドの案内で周辺の野山を歩きます。山歩き初心者でも大丈夫。 日時●7月21日(土)9月15日(土)10月27日(土)11月17日(土)1月19日(土)2月16日(土) いずれも13:00~15:30 定員●30名 料金●大人1,000円 小人500円
 ☆里山うんちく塾 内容●研究者や地元住民、林業家などさまざまな分野の専門家を招いた気楽な講座。 日時●9月2日(日) 溪流と水生生物 10月7日(日)きのこと里山 いずれも10:00~15:00 参加対象者●中学生以上定員●20名 料金●大人1,500円
 ☆炭焼職人弟子入り合宿 内容●伐採から炭出しまで、炭焼の全てが体験できます。①では、伐採・薪割り・立て込み・火入れ・木酢液採取。②では、炭だし。焼いた炭をお持ち帰りいただきます。
 第1回①7月14日(土)~16日(祝)2泊3日 ②7月28日(土)
 第2回①11月10日(土)~12日(月)2泊3日 ②12月1日(土)
 いずれも10:00~16:00
 参加対象者●中学生以上 料金●15,000円(1回分①②)
 ☆森の子キャンプ 内容●いきものふれあいの里(朽木柏)とくつきの森両方の自然が楽しめるキャンプ。 第1回:8月4日(土)~5日(日)1泊2日 第2回:11月23日(祝)~24日(土)1泊2日
 いずれも10:00~翌日15:00
 参加対象者●家族向け 会費●大人7,000円 小人5,000円
 ☆土足で入れる教室って何だろう 内容●野良仕事や森の散策路の整備、まき作りなど。7月7日(土)伐採・8月25日(土)森の整備 9月22日(土)収穫・10月20日(土)森の市 11月3日(祝)伐採 いずれも10:00~15:00 会費●1家族30,000円(年間)(てんくう温泉入浴券付き)
 ☆森のワークショップ
 ①陶芸教室:毎月第2・4土曜日13:30~16:00 ②草木染め:毎月第1・3土曜日13:30~16:00 ③フラワーアレンジメント:毎月第3水曜日10:00~12:00
 参加費●いずれも1,000円(材料費、焼成費は別途)
 〇NPO法人麻生里山センター
 TEL:0740-38-8099
 e-mail:asosatoyama@zb.ztv.ne.jp

◇締切日:6月29日(金)

●貨物車駐車施設の整備等による交通円滑化支援制度/近畿地方整備局

ホームページ:<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/butsuryu/tyusyaisetsu/index.html>

●交通安全等関係研究助成/三井住友海上福祉財団

ホームページ:<http://www.ms-ins.com/welfare/>

●高齢者福祉関係研究助成/三井住友海上福祉財団

ホームページ:<http://www.ms-ins.com/welfare/>

◇締切日:6月30日(土)

●「結の湖都(ゆいのこと)まちづくりパワーアップ事業/大津市
問い合わせ:077-528-2915, 2770

●ドコモ市民活動団体への助成事業(子どもの育成支援助成)

/NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド

ホームページ:<http://www.mcfund.or.jp/>

●子ども文庫助成事業(子どもの本購入助成)/財団法人 伊藤忠記念財団

ホームページ:<http://www.itc-zaidan.or.jp/index.shtml>

●病院施設子ども読書支援(子ども読書支援 購入

費助成)/財団法人 伊藤忠記念財団

ホームページ:<http://www.itc-zaidan.or.jp/index.shtml>

●社会福祉助成金/社会福祉法人 丸紅基金

ホームページ:<http://www.marubeni.co.jp/kikin/index.html>

●太陽生命ひまわり厚生財団助成(高齢・障害福祉に関する

事業助成・研究助成)/太陽生命ひまわり厚生財団

ホームページ:http://www.taiyo-seimei.co.jp/news/pdf/190323_2.pdf

◇締切日:7月20日(金)

●文化庁 文化芸術振興費補助金/文化庁

ホームページ:http://www.bunka.go.jp/new_fr7.html

◇締切日:7月31日(火)

●公益信託 大成建設自然・歴史環境基金/みずほ信託銀行株式会社

ホームページ:http://www.taisei.co.jp/about_us/society/kikin/index.html

●「豊かで活力ある長寿社会の構築をめざして」を基本

テーマとした研究助成/財団法人ユニバーサル財団

ホームページ:<http://www.univers.or.jp/univers.html>

●「新しい世紀の社会づくり」をテーマとした市民

活動助成/財団法人 ユニバーサル財団

ホームページ:<http://www.univers.or.jp/univers.html>

◇締切日:8月13日(月)

●庭野平和財団2007年(平成19年)活動助成/庭野平和財団

ホームページ:<http://www.ichijiki.org/>

◇締切日:8月31日(金)

●子ども文庫助成事業(子どもの本100冊助成)

/財団法人 伊藤忠記念財団

ホームページ:<http://www.itc-zaidan.or.jp/index.shtml>

●病院施設子ども読書支援(子どもの本100冊助成)

/財団法人 伊藤忠記念財団

ホームページ:<http://www.itc-zaidan.or.jp/index.shtml>

●パタゴニア環境助成金プログラム/パタゴニア日本支社

ホームページ:<http://www.patagonia.com/jpn/contribution/patagonia.go?assetid=2927>

◇締切日:9月30日(月)

●市民青少年交流助成プログラム/独立行政法人

国際交流基金

ホームページ:http://www.jpfi.go.jp/about_j/program_j/culture/dl/apply/pdf/G2-GGsample.pdf

●日本で実施される異文化理解促進事業支援/独立行政法人国際交流基金

ホームページ:http://www.jpfi.go.jp/about_j/program_j/culture.html

◇締切日:9月30日(日)

●第4回 精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)/

精神障害へのアンチスティグマ研究会

ホームページ:http://www.lilly.co.jp/CACHE/index_index.cfm

センター 事業報告 Center After Report

「企業とNPOの対話の夕べ」 ～連携と事業創造の可能性をみつける～

NPOと企業が互いに連携・協力しながら事業や活動に取り組む、そんな新しい関係づくりが求められています。そこで、センターでは2007年3月15日、NPOと企業の交流を図るため「企業とNPOの対話の夕べ」を開催しました。参加された39名(企業:18名、NPO:13名、その他:8名)は、お互いの情報を交換しながら、新しい関係への期待を確かめました。



当社もこれから環境学習に取り組んで行こうとしているのですが、ノウハウや実施体制がありません。具体的な取り組みに結びつきそうなNPOの方と知り合うことができ大変感謝しています。(企業の声)

アート作品の制作を通じた、障がい者の自立支援に取り組んでいます。展示スペースのご提供や美術館との連携など、色々な企業の方と連携するきっかけづくりができました。(NPOの声)

2006年6月に入塾したおうみ未来塾第8期生は現在、 次の4つのグループに分かれてグループ研究活動を行っています。

●里湖づくりヤット参人's

マザーレイク琵琶湖を青少年の心に育むために「こどもびわこ自然環境体験・学習セッション」の立ち上げをめざします。

●里山コミュニティ夢織

身近にある里山資源で人と人とのふれあいの機会を提供するとともに、環境保全や心の豊かさの大切さを発信するネットワークを創造します。

●こ・結

子どもの安全や子育てをはじめ、障害者・高齢者等に対し、地域の助け合いの輪が広がるよう、地域社会の再生・復活をめざします。

●中山道410

近江中山道の文化再発見、新発掘を行い、2012年「中山道410年祭」の準備と、滋賀県の中山道に良いワ(話・輪・環・和・巻)を築くことをめざします。



4月20日に第1回近江中山道夢みる座談会を行いました。(中山道410グループ)



4月21日に第1回だがしや楽校を開催しました。(こ・結グループ)

60号の特集アンケート テーマ:「10年」

アンケートにご回答いただける方は、性別・年齢をご記入の上、ハガキ、ファックスまたは電子メールで淡海ネットワークセンターまでご送付ください。住所・氏名をご記入いただいた方には抽選で粗品をプレゼントいたします。

Q1.この10年で市民活動やNPOの活動は広がってきたと思いますか?

a.はい b.いいえ c.わからない

Q2.10年を振り返って活発になったと感じるのは?

a.NPO b.ボランティア c.自治会
d.PTA e.その他

Q3.あなたが市民活動に参加するとすれば、その動機は?

a.社会をよくする b.人を助ける c.自分のため
d.仲間作り e.その他

▶アンケート締切:7月末日

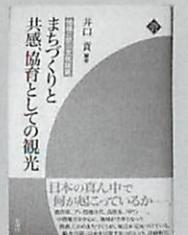


新刊書案内

まちづくりと共感、協育としての観光
地域に学ぶ文化政策 井口 貢編著
株式会社 水曜社 2,500円+税

共感から教育、共育、そして協育としてのまちづくりへ。

地域に学び、地域を活かした個々の事例からこれからの地域振興、観光振興を考える。8つの事例のうち2つが滋賀県のもの。また、米原市のNPO法人FIELDの高見啓一氏が2章分を執筆しています。





淡海ネットワークセンター
設立10周年記念フォーラム

「地域を見つめて。おうみの市民社会のカタチ ～これからの10年を創る」を開催します

「淡海ネットワークセンター」は、今年4月にオープン10周年を迎えました。そこで、これまで10年のNPOや市民社会を取り巻く環境の変化と課題を見据え、これからの10年を創るうえでの展望を広く共有し、魅力的で活力のある滋賀の市民社会を実現するための次なる第一歩を踏み出す契機とするため、記念フォーラムを開催します。

- ◆日時：6月24日（日）10：00～16：45（交流会／17：30～19：30）
- ◆会場：ピアザ淡海（大津市におの浜1-1-20）
- ◆内容（予定）

- 基調講演「地域と市民が織りなす これからの市民社会」（仮題）
講師：川北秀人さん（IHOE 人と組織と地球のための国際研究所 代表）
- 分科会

- ①「地域自治～多様な主体が共に創る地域社会」（仮題）
コーディネーター：北村裕明さん（滋賀大学経済学部教授）
パネリスト：大室悦賀（おうみ市民事業創出支援プロジェクトマネージャー）
山田 実さん（NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク副代表兼事務局長）
澤田龍治さん（高島地域観光振興協議会事務局長）
- ②「組織経営～次の10年を創る組織経営を学ぶ」（仮題）
講師：川北秀人さん（IHOE 人と組織と地球のための国際研究所代表）
事例紹介：濱川めぐみさん（NPO法人FIELD代表）
井阪尚司さん（NPO法人蒲生野考現倶楽部総合プロデューサー）

- ③「社会変革～NPOは人々の意識や社会を変える力になっているか?」（仮題）
コーディネーター：阿部圭宏さん（NPO法人市民がさえる市民活動ネットワーク滋賀代表）
パネリスト：佐野章二さん（有限会社ビッグイシュー日本代表）
吉富志津代さん（(株)FMわいわい取締役多言語番組プロデューサー）
成瀬和子さん（NPO法人しみんふくし滋賀常務理事兼事務局長）

- ④「NPOって何?～今あらためて押さえておきたい市民活動の基礎」（仮題）
講師：森川稔さん（NPO法人おおつ市民協働ネット代表）
アシスタント：藤原久代さん（マキノまちづくりネットワークセンター）
- ◆定員：150名
- ◆参加費：500円（交流会は、別途5,000円）
- ◆申込：希望分科会名（第2希望まで。ご希望通りにならない場合もあります。）、交流会への参加・不参加を明記のうえ、氏名、住所（連絡先）、電話番号、団体に所属の場合は団体名を記入して、6月19日（火）までに郵送、FAX、メールで淡海ネットワークセンターへお申し込みください。ホームページからもお申し込みいただけます



共感とマーケットで地域課題を解決したい人のための「市民事業化連続講座」

市民やNPOの活動が、市場メカニズムの中でサービスや事業として展開され、持続的・発展的に社会的な価値を生み出す動きが注目されています。こうした、市民事業に取り組む人に求められる能力を養うことを目的に開催します。

第1回のオープニングでは、市民事業の第一線で活躍中の皆さんとのトークを。第2回～第4回の講座は、日本初の社会起業コンサルティング会社「フォレスト・プラクティス」を設立された田辺大さんを講師にお招きします。詳しくはホームページをご覧ください。

◆内容

第1回／オープニングサロン

日時：7月3日（火）18：30～20：30
講師・ゲスト

大室悦賀（おうみ市民事業創出支援プロジェクトマネージャー）
村田早耶香さん（NPO法人かものはしプロジェクト共同代表）
斉藤毅さん（NPO法人五環生活ベロタクシー参観パートナー代表）
岩永健一さん（立命館大学起業研究団体「滋賀県いいもの発信プロジェクト」代表）

※第1回オープニングサロンのみ一般公開

第2回／「市民事業の構造を知り、基礎を創る」（仮題）

日時：7月22日（日）10:30～16:30

第3回／「市民事業を企画する」（仮題）

日時：8月5日（日）10:30～16:30

第4回／「市民事業を伝える」（仮題）

日時：9月2日（日）10:30～16:30

◆会場：滋賀大学大津サテライトプラザ

平和堂アルプラザ大津5階（JR大津駅前）

◆対象：社会起業、コミュニティビジネスに興味のある社会人・学生、活動の事業化や組織基盤の強化をめざすNPO・市民活動団体、おうみNPO活動基金への応募検討中の団体

◆定員：20名

◆受講料：5,000円（全4回総額）

オープニングサロンのみの場合：2,000円

◆申込：お名前・住所・電話・Eメール・所属を明記のうえ、6月29日（金）までに、郵送・FAX、Eメールで、淡海ネットワークセンターまでお申込みください。

「おうみNPO活動基金」助成に 新メニュー（ハード助成）ができます

資金面等でNPOの基盤強化を支援する「おうみNPO活動基金」助成に、施設改修等のハード整備を助成対象とする新しいメニューを追加します。詳しくは、後日お知らせしますので、ご期待ください。

◆日程（予定）

募集：9月 審査：10月～12月

事業実施：2008年1月～12月

編集後記



「本物の暮らしを体験したい」…えっ？ 私らってニセモノの生活してたの？ 便利な現代社会に慣れてすっかり忘れてしまっていた生活を、若い学生さんに言われてハタと気付く私。「五環生活」のプロジェクトリーダーたちの、あまりに真摯な姿勢に目からウロコでした。ちょっぴり、反省…。

（編集ボランティア・松井）

あけぼの滋賀さんに取材に伺いました。「人に言えない」という気持ちから「少しでも多くの方が早期発見してほしい」という行動をとるまでに、ダイナミックに変身した皆さんは魅力的でした。私まで「もし病気になるのも大丈夫だ」と明るい気持ちになりました。出会いに感謝！

（編集ボランティア・幅）

淡海ネットワークセンター

（財）淡海文化振興財団 淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■http://www.ohmi-net.com/ ■E-mail:office@ohmi-net.com

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日（12/29～1/3を除く）

火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝日/9:00～17:00

●淡海ネットワークセンターの情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。

・各地域振興局、県民情報室、県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、栗東芸術文化会館さくら、滋賀銀行、滋賀県信用組合、郵便局（ボランティア貯金窓口）、公民館など

©無断転載を固くお断りします。

の日? NPO 2007年 カレンダー 6月・7月・8月

2 土	3 日	4 月 虫の日	5 火 世界環境デー	6 水 飲み水の日 おけいこの日	7 木 母親大会記念日
10 日 時の記念日 商工会の日	11 月	12 火	13 水 小さな親切の日	14 木	15 金
18 月 海外移住の日	19 火	20 水 難民の日 地域安全の日 (毎月20日)	21 木	22 金	23 土
26 火 国際麻薬乱用・ 不正取引防止デー	27 水	28 木	29 金	30 土	7月
3 火 市民事業化 連続講座第1回	4 水	5 木	6 金 七夕 川の日	7 土	8 日
11 水 世界人口デー	12 木 ラジオ本放送の日	13 金 生命尊重の日	14 土	15 日	16 月 海の日 駅弁記念日
19 木 女性大臣の日	20 金	21 土 自然公園の日	22 日 著作権制度の日	23 月 文月ふみの日	24 火
27 金	28 土	29 日	30 月	31 火	8月
3 金	4 土 橋の日 善の日	5 日 市民事業化 連続講座第3回	6 月 広島平和記念日	7 火 鼻の日	8 水
11 土	12 日 国際青少年デー	13 月	14 火 特許の日	15 水 終戦記念日	16 木
19 日 バイクの日 俳句の日	20 月 交通信号の日	21 水 噴水の日 献血記念日	22 木	23 金	24 土
27 月	28 火 文化財保護法 施行記念日	29 水	30 木	31 金 野菜の日	



★ネットワークセンター休館日